

「土砂災害に備えて」

まんのう町立四条小学校 5年 毛利 俊介さん

今年の梅雨の時期に九州地方で集中豪雨がありました。テレビや新聞で毎日のように被害の状況が報告されていました。裏山がくずれて家が壊れてしまった人や、土砂に家や車が埋もれてしまった人など。

台風や大雨で僕の住んでいる香川県でも土砂の被害が起こる時があります。どうして土砂災害が起こるのでしょうか。また、土砂災害に備えて、日頃から出来ることがあるのでしょうか。

まず、土砂災害には大きく分けて三つの災害があるそうです。

一つめは、土石流と言って、多量の岩石や土砂が流水によって運ばれることによって起こります。

二つめは、がけ崩れと言って、大雨によって地中に水がしみこみ、急激に斜面が崩れて落ちてしまいます。

三つめは、地すべりと言って、比較的なだらかな斜面で起こりやすく、大雨などにより斜面の一部あるいは全体が、すべり落ちてしまいます。

土砂災害は、いつどこで起こるか分かりません。自然がもたらす災害なので、人間の力ではどうすることもできません。なので、台風などで大雨が降り続けている時は、雨が降りやんでもしばらくは、注意して行動しないといけないと思います。

次に土砂災害に備えて、日頃から出来ることはないかなあと考えました。

まず、僕の住んでいる地域に土砂災害の起こりそうな場所を確認してみました。家の近くには山がありませんが、通学路の近くに山があります。数年前に台風で大雨が降り、山で土砂くずれがあった場所もあります。その時は大きな被害にはならなかったもので、良かったです。

次に、避難場所の確認をしました。万が一避難しないといけなくなった時に、家族と一緒にいるとは限りません。なので、自分で避難できるように場所を確認しました。小学校の近くの農改センターです。避難場所に行くには、橋を渡らないと行けません。大雨で川の水位が上がっていたり、暴風が吹いている時は、どうしようと不安です。

避難時に備えて、非常用袋を用意することも大切です。かい中電灯や、非常食などを入れたリュックをどこに置いてあるか、家族みんなが知っておくことも大切だと思います。

台風が接近したり、大雨が降り続いたりした時は、テレビやラジオ、インターネットなどで、正確な情報を入手することが大切です。そして、「まだ、大丈夫。」、「もう少し危なくなっただけから。」ではなく、早目に行動することも大切です。

僕が住んでいる地域は、土砂災害には、あまり関係がないかなあと考えていました。しかし、いつどこで起こるか分からないので、「僕のところは大丈夫。」、「僕のところは関係ないな。」と言う気持ちでは、ダメだなと思いました。台風や大雨が降っている時は、危険な場所には近づかない。避難ルートを確認して、安全に避難場所に避難できるようにする。